

9:30 ▶ 10:35 基調鼎談 K3 センチュリールーム

東京センチュリー株式会社 取締役 専務執行役員 馬場 高一氏
日本瓦斯株式会社 代表取締役社長 和田 眞治氏

一橋大学 CFO 教育研究センター長 一橋大学 大学院経営管理研究科 特任教授 攻めのIT経営委員会 委員長 伊藤 邦雄氏
経済産業省と東京証券取引所が選定する「攻めのIT経営銘柄」は4年目を迎えました。継続的に攻めのIT経営に取り組んでいる企業は、何を実践しているのでしょうか？複数回「攻めのIT経営銘柄」に選定されている企業に登壇いただき、そのポイントを「攻めのIT経営」委員長の伊藤邦雄教授からのインタビューにより解き明かしていきたいと思ひます。

10:45 ▶ 11:45 特別講演 K4 センチュリールーム

株式会社NTTデータ 代表取締役社長 本間 洋氏
デジタル時代に求められる「変わらぬ信念と変える勇氣」

デジタルはこれまで不可能であった多くのビジネスを可能にしてきました。その一方で、デジタルは我々が生きる時代を予測困難なものもしています。このような予測が難しい時代に、私たちはどのようにビジネスに取り組んでいくべきでしょうか。ビジネスとITの関係の変化から、デジタルの活用を成功に導くポイントを見つけ出し、いま私たちに求められる「変わらぬ信念と変える勇氣」についてお話しします。

12:00 ▶ 12:45 ランチョンセッション

事業貢献に向けたIT組織変革 L5 会場 ⑨ クリスタルルーム
当社はIT組織トランスフォーメーション支援サービス「NSTRans」を提供しており、お客様CIOやIT組織長などから130件以上のご相談を頂きました。その経験から、事業貢献に向けたIT組織変革事例をいくつか紹介します。IT組織が従来手掛けてきた領域だけでなく、新たに求められているデジタルイノベーション領域のIT組織変革事例も含まれます。最後に、IT組織変革を支援する弊社サービスやフレームワークについて、簡単にご説明します。

ERPだけでは不十分。変化に耐える会社を作る、スピード&予測型 経営管理の実現方法 L6 会場 ⑩ 天平
グローバル化、消費者ニーズの多様化、競争環境を根本から覆すような技術革新など、経済的不確実性・市場変化が突発する現代において、市場の変化への素早い対応は不可欠です。一方で企業の経営管理の中核となるシステムは、老朽化、未投資、検討外という燃焼した状況をよく拝見します。今回は、変化に柔軟な予算管理システムの実現方法と、CFO、CIO が理解しておくべき日本の傾向をご案内します。

マルチクラウド時代のインテリジェントデータマネジメント L7 会場 ⑪ 白 風
多くの企業が従来型のデータ保護ソリューションによるリアクティブな対策ではビジネスの継続性を担保できない現実に直面しています。このセッションではプロアクティブな次世代のデータマネジメントソリューションにより無停止のビジネス継続性を実現する方法をご紹介します。

モバイルワークによる生産性向上を支えるセキュリティ L8 会場 ⑫ 平 安
多くの企業でモバイル端末を業務活用されていますが、セキュリティを気にするあまり有効に活用出来ないケースが多いように見受けられます。一方、EUでGDPRが施行されより一層セキュリティの強化も必要とされています。モバイルの有効活用とセキュリティの強化、この相反する要求を両立させるためのベストプラクティスを本セッションでは紹介いたします。

13:00 ▶ 14:10 ディスカッションテーブル

デジタル化、そだねー。で、何するんですって？ A5 会場 ⑬ 桃山A
「デジタル化」、誰かが都合よく作り出したパスワードのようでもあります。しかしながら、IoT、AI、RPAなど、新しい時代に向け、新しいIT活用が広がりとつある事は、肌身で感じられているのではないのでしょうか。「今、求められること」「数年後、実現される姿」「未来へ、今何をすべきか」皆様の取組を共有しながら、未来につなげる実践的議論をしましょう。

デジタル化に耐えうるデータマネジメントできてますか？ B5 会場 ⑭ 桃山B
デジタル化を推進するには、AI、IoT、ビッグデータ解析など、さまざまな技術要素がありますが、その背景に共通するのは「データ」です。根幹となる社内情報はSoR上にありますが、社外から調達しなければならないデータの重要性も高まっています。これらをいかにバランスよくマネジメントしていくかが鍵ではないでしょうか。本セッションでは、各社の宝である「データ」を軸に、デジタル化に耐えうるデータマネジメントについて、皆様と意見交換したいと思います。

いま、IT部門に求められるケイパビリティは？～DX実践の壁を越えるために C5 会場 ⑮ クリスタルルーム
企業におけるDX(デジタルトランスフォーメーション)が実践のステージに入り、IT活用の成果として、より直接的な事業や収益への貢献(攻めのITの実現)が求められています。一方、DX実現には、いろいろな壁が存在しています。壁を乗り越えるには、IT部門にとっても、これまでと異なるケイパビリティが必要です。本ディスカッションテーブルでは、いま、求められるケイパビリティとその獲得のための取組みを事例をもとにディスカッションします。

JUAS クローズアップセッション

【ブレイクスルーの集い】分かつちやるけど進まない？データを駆使したビジネス価値創造 D5 会場 ⑯ 天平
今日のビジネス価値創造の多くは、高度なデータ分析・利活用によって実践されている。「そんなこと、分かつてる？」ですって？でも本当は「分かつちやるけど実際はねえ」と、こっそり思っていますか？このセッションは、そんな思いの方々の集いです。普段は言えない「あのボトルネック」を乗り越えて、データを駆使した価値創造を実践するワクワクするIT部門になるために、一緒にブレイクスルーの方法を考えてみませんか？

14:25 ▶ 15:15 コンサルティングセッション

Virtustream ～基幹システムがクラウドに求めるものとは～ A6 会場 ⑰ 桃山A
Dell Technologiesが展開するクラウドサービス、「Virtustream」のご紹介です。企業における基幹システム用クラウドとして特に多くの企業様に選ばれているVirtustream Enterprise Cloudは、北米からサービスを開始して8年、世界で300社以上の基幹システムの本番環境をお預かりしております。数あるクラウドの中でなぜVirtustreamが選ばれるか、そのユニークな特徴と強みを事例も交えてご紹介します。

加速するIoT化と、「サイバー・セキュリティ対策！」～ネットワークの「隔離」と「遮断」～ B6 会場 ⑱ 桃山B
政府から「Connected Industries：我が国産業が目指す姿(コンセプト)」が発表されました。欧米各国でも新たな産業コンセプトが同様に打ち出されており、産業界・モノづくりの現場では大きな変革期を迎えています。この大変革のカギとして、IoTへの注目が高まっています。「IoT」と、IoTを実現する「サイバー・フィジカル・システム(CPS)」そして、IoT化で高まる「サイバー攻撃リスク」に対する「IoTセキュリティ」の動向についてご紹介します。

シマンテックが描く2020年を見据えたセキュリティ境界線の未来 C6 会場 ⑲ 天平
今、企業におけるセキュリティ対策は転換期を迎えています。クラウドシフトや働き方改革、デジタルトランスフォーメーションの実現については、改正法やGDPRといったデータガバナンスへの対応が必須となり、既存のセキュリティ境界線ではこれらの革新に対応することはできません。オリンピックイヤーを2年後に控え、日本企業がビジネス改革で成功を収めるために必要な新しいセキュリティ境界線の考え方について解説いたします。

デジタル革新を支える次世代ICT基盤への取り組み ハイブリッドITによるSoR/SoE連携の実現 D6 会場 ⑳ 白 風
AI/IoTなどの技術革新を背景にデジタル革新への取り組みが活発化しています。こういったデジタルビジネス(SoE)を成功させるには既存システム(SoR)との連携が必須となります。ここではSoR/SoEの連携環境を実現する次世代のICT基盤とその運用についての方向性と考え方のポイントをご説明します。

15:30 ▶ 16:20 事例セッション

デジタル化時代におけるユーザー企業のIT部門運営 A7 会場 ㉑ 桃山A
デジタル化の進展は、最適な価値をより多くのお客様にお届けする機会と捉えています。本格的なデジタル化時代を迎え、テクノロジー導入と既存システム維持の両立が課題となっています。「思い」を持った社員が、皆さまとの「つながり」をさらに強くできないか、思索をめぐらせています。ユーザー企業のIT部門運営の視点から、デジタル化時代に向けた課題について共有します。

有効で長続きする人材育成の進め方～iCDを用いた人材育成事例の紹介 B7 会場 ㉒ 桃山B
人材育成はどの企業にとってもいわば「永遠の課題」ですが、独立行政法人情報処理推進機構(IPA)が策定・推奨するiコンピテンシ ディクショナリ(iCD)を用いてその課題に対応する企業が続々と現れております。本セッションでは、9年にわたってiCDを活用しながら人材育成を行ってきた企業の担当と、iCDの誕生と普及に深く関わった担当者が、事例を掘り下げながらiCD活用と人材育成のキモを語り合います！

コンサルティングセッション

The Enterprise Immune System :次世代サイバー防御に機械学習を活用 C7 会場 ㉓ 天平
ますます高度化・増加するサイバー攻撃や内部脅威に対し、完璧な防御はもはや不可能です。ダークトレースのEnterprise Immune System技術は、ケンブリッジ大学の専門家により開発された機械学習と数学理論を応用してネットワーク全体の定常状態を常に把握、リアルタイムに可視化し、異常な挙動や未知の脅威を即検知する、ルールやシグネチャに依存しない新機軸のセキュリティ対策です。2013年に設立以来、全世界に32の拠点を展開、世界97か国以上における5,000件以上の導入実績において、63,500以上の未知の深刻なサイバー攻撃を検知した。クラウド、仮想、IoT、産業用制御システム(ICS)を含むあらゆるデジタル環境で機能するダークトレースの自己学習型アプローチについて詳説します。

JUAS TECH PITCH 2018

公募によるスピーカーが数年後の未来に向けて、「創っている」サービス、テクノロジー、実践に向けた研究、挑戦などをお届けします！ D7 会場 ㉔ 平安
※未来に向けて「創っている」コンセプト、考え方、解決できる課題などを6分間で語るライトニングトークです。
※会場にご参加の皆様による投票を行います。ぜひ会場でスピーカーの「創」を応援してください！
※表彰式は本セッション内で行います。

16:30 ▶ 17:30 総括講演 K5 センチュリールーム

世界に新しい価値をつくる「アルケミスト」は、こう生きる！
「会社の文化を変えたい！」という企業の変革を支援しているプロノイア・グループでは、日々、新しい価値をつくる生き方や働き方とは何かを考え、自社やパートナー企業たちと実験しています。その実験からわかってきた、社会の変革を導くことができる人物像を「アルケミスト」と名付けました。新しい価値をつくり続けるアルケミストと、これまでの価値に対応し続ける人との生き方は、一体なにが違うのか？セッションにて、お伝えします。

17:30 ▶ 17:35 閉会のご挨拶 センチュリールーム